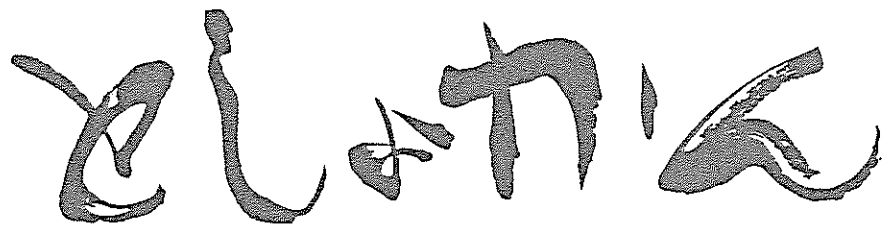


宇都宮市民憲章

- 1 健康で、心のふれあう明る
いまちをつくります。
- 2 きまりを守り、活気あふれる
楽しいまちをつくります。
- 3 学ぶことを大切に、文化の薫
る美しいまちをつくります。



編集・発行 宇都宮市立図書館 明保野町7番57号 〒320 TEL 36-0231

読書の世界に遊ぼう

読書案内

夏休みです。海に山にと、出かけることも多くなります。車や電車の中で、初めての風景をながめながら、パラパラと読書。旅先の宿で、じっくり読書。いつもとちよつとちがった所で、いつもとちがった本を読んでみてください。

最近発行された本の中から、いくつか紹介します。

＜小説＞

▲『花衣ぬぐやまつわる』田辺聖子著、集英社
▲『堀の中のブレイ・ボーイ』安部譲二著、講談社



▲『夢うつつの記』円地文子著、文藝春秋
▲『雪舞い』芝木好子著、新潮社
▲『花の図鑑(上・下)』阿刀田高著、日本経済新聞社
▲『人間臨終図巻(上・下)』山田風太郎著、徳間書店
▲『代表作時代小説昭和62年度』日本文芸家協会編、東京文芸社
▲『猛き箱舟(上・下)』船戸与一著、集英社
▲『われ逝くものごとく』森敦著、講談社
▲『勇魚(上・下)』C・W・ニコル著、文藝春秋
▲『よく死ぬことは、よく生きることだ』千葉敦子著、文藝春秋
▲『霧の会議(上・下)』松本清張著、文藝春秋

いずれもなかなか読みごたえのある本です。中でも千葉敦子さんは、ガンと闘いながら執筆活動をしていて、過日亡くなりました。

死を見つめ、生きることを考えます。また安部譲二や松本清張も人気のある作家です。松本清張の新作は上・下二冊の大作です。

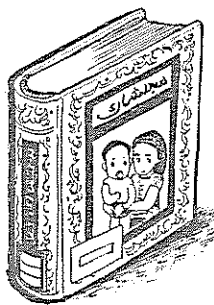
＜ノンフィクション＞

●『世界は日本をどう見ているか』対日イメージの研究 辻村明ほか編、日本評論社
●『情報化中間大衆の時代』橋本晃和著、御茶の水書房
●『中国革命に生きる』コミンテルン軍事顧問の運命 姫田光義著、中央公論社(中公新書)
●『戦時下の庶民日記』青木正美著、日本図書センター
●『図説古代中国五〇〇〇年の旅』韓中民・ユベール・ドラエ著、田島淳ほか訳、日本放送出版協会
●『モードのイタリヤ史』流行・社会・文化』ロジータ・レーヴィ・ピセツキ著、森田義之ほか訳、平凡社
●『転職！男が迷うとき飛ぶとき』早瀬圭一著、新潮社
●『妊娠中絶裁判！マリールール事件の記録』

ヘジョワジュール』会編、辻由美訳、みすず書房
●『自民党よ驕るなかれ』田川誠一著、講談社
●『トイレの文化史』ロジェール・アンリ・ゲラン著、大矢タカヤス訳、筑摩書房
●『恐竜の謎』ジョン・ノープル・ウィルフォード著、小島郁生訳、河出書房新社
●『覇者の驕り』自動車・男たちの産業史(上・下)『ディビッド・ハルバースタム著、高橋伯夫訳、日本放送出版協会』

『さしかえの50年』尾崎秀樹著、平凡社
今の日本社会を分析し、世界の

中の日本を考える本が増えていきます。また、毎年のことですが、この時期は戦争に関する様々な本が出版されます。夏だけではなく、常に心に止めておきたいことですから、今年の夏は、「水」をテーマに本を集めてリストを作ってみ



ました。梅雨時期に雨が少なく、水不足が心配されました。特に今年の夏は「暑い」という毎日です。たくさんのお水にお世話になっていますから、少し、水のことを勉強してみましよう。上下水道は

もちろん、工業用水、農業用水、川や海の水、気象関係の本と、いろんな分野で論じられています。

次に、子どもの本の紹介です。あー、感想文書かなくちゃ。課題図書ってつまらない。なんていう声がかきこえてきそうですが、各機関から良い本が推せんされていますから、まず読んでみましょう。そして、宿題の読書がおわったらあとはたくさんある本の中から好きな本をみつけたら、じっくりと楽しんでください。

この夏、児童図書室にあたらしく仲間入りした本を、いくつか紹介します。

＜絵本＞

「いないいないばあ」のえほん 安野光雅、童話屋
「きつとみんなよろこぶよ」ピーター・スピア、評論社
「おかあさんになったりすのちび」河本祥子、福武書店
「富士山にのぼる」菅原久夫、福音館書店
「マルルおばさんのたまげたいちにち」久我通世、講談社
ひとくちに絵本といっても、「いないいない……」は字のない絵本、「富士山……」は実際にやってみたことを描いた絵本です。いろいろな種類がありますね。
へやさしい読み物



「すいかをおいしくたべるには」渡辺有一、あかね書房・「こはる先生だいすき」森はな、ポプラ社・「ごめんねベケ」杉山伸、偕成社・「こぎつねコンチ」中川李枝子、のら書店



読んでみたい本がみつからないときは、係の人に聞いてください。おもしろい本があったら、おともだちにも教えてあげましょう。

「読みごたえのある物語り」
「ダンクトンの森(上・中・下)」ウィリアム・ホーウッド、評論社・



「屏のむこうの物語」岡田淳、理論社・「家出人が五人!」菊池俊、童心社・「べにばらホテルのお客」安房直子、筑摩書房・「ライオン」のラフカディオ・シエル・シルヴエスティン、佐学社

さし絵や表紙だけを見て決めで、地味な本でも、長い物語でも挑戦してみよう。今年の夏はいそがしいけれど来年なら、という人は、書名を忘れないようにメモしておいてください。

「身近なことを調べる本」

「ユリのふしぎ」今井國勝、あかね書房・「蚊も時計を持っている」

すいひつ講座

田中 澄江氏

7月12日(日)劇作家・小説家の田中澄江氏を迎えて第1回すいひつ講座を開催しました。

「日々を生きる」をテーマに、具体的な例を色々あげて語られました。

限られた短い枚数の中に、自分の見たこと考えたことを入れてすいひつを書くには、一つの選別が働きます。

山へ行くには、この選別の精神が無ければ登れません。それは山に限らず、自分の限ら

れた命を充実させて生きるためには、選別の精神を働かせたいと思います。

選別の精神を働かせるということとは、常に批評の精神を持って自分自身の内部と自分を取り巻く周辺を見ることがだと思います。

これを簡単に言えば、ものを考えるということなんです。

自分が何をしたら良いか、またそれによって他人にどういう影響を与えるか、そういうことを考えながら生きて行きたい。そして、

千葉喜彦、さえら書房・「さあいこう川はともだち」地学団体研究会、大月書店・「ちはどんなはたらきをするの?」横森周信、偕成社

ふしぎなことって何?と聞かれて、何を連想しますか。花も虫も川にも、君のからだにも、ふしぎなことはいろいろあるんですね。この本を読んで観察してみると、きつとおもしろいですよ。



さあ、図書館へ来てみましょう。そして、いつもとちがう本の棚の前で、今まで読まなかった本の中

命を大事にしたい。

深沢七郎さんの「檀山節考」にも見られるように、日本には昔から、長く生きていることを恥とする精神があり、切腹や自殺が美化される。

自分の命は、その最後の日まで自分を磨いて、充実した人生を送ることが人間の使命ではないでしょうか。

私は山の危機感にあふれた道を歩くのも好きですけれども、高山植物が好きなのです。

栽培された花よりも、高山植物のように逆境に育った花の方が美しい。



古典の世界でも、「枕草子」の清少納言は非常な逆境にあつて、その中から、あの力強い文体で切れ味のよい文章を書けたのです。

きちんとならべて

自転車置き場には、白線が引いてありますので、白線の枠の中にきちんと並べて置いてください。また、黄線の枠の内や点字ブロックの上は、駐輪禁止です。ここに自転車を置くと、通行の支障となるばかりでなく、視力障害者の方にとって大変危険です。禁止場所には絶対に置かないでください。

なお、盗難防止のため、自転車には必ず鍵を掛け、カゴ等に荷物を置かないで下さい。荷物は一階のロッカーを利用して下さい。

コピーサービス

図書館の本をコピーする場合は、三階調査相談カウンターで係員にお申し込みください。一枚20円で、拡大・縮小もできます。

ただし、次の資料は法令によりコピーできません。

- ・図書の一部
- ・国土地理院の地勢図
- ・絵画、写真など
- ・レコードジャケット、歌詞カードなど
- ・雑誌の最新号
- ・持込資料、教科書、ノートなど

読書指導者養成講座

黒尾 正臣氏

6月14日(日)白鷗大学講師の黒尾正臣氏を迎えて、第1回読書指導者養成講座を開催しました。

「表現と理解」をテーマに、言葉の本質、日本語の特質などについて、俳句などの例をあげながら講演を進められました。

言葉というものは、物事の端々、水山の一角であり、「もの」や「こと」を概念化するための手段である。従って概念化が経験的に不十分な子どもは、犬をワンワンと表現したりすると話されました。

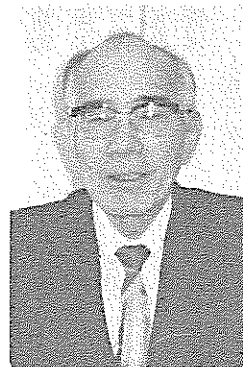
また、韓国梨花女子大学教授のリー・オンレイ著『「縮み」志向の日本人』の中で、著者は「日本人は何でも小さくしてしまう」と指摘していると紹介されました。

第一回 子どもと子どもの本をつなぐ講座

角野 栄子氏

6月21日(日)に児童文学者の角野栄子氏を迎えて、「子どもと子どもの本をつなぐ講座」第一回を開催しました。

この講演会は、子どもの本をとりまく現状を知り、子どもと本を結びつけるために、大人はどのよ



例えば「少年よ大志を抱け」も後に続く。人間としてなすべきことの達成の方向においてアンビシャスであれ、となっている。このように以下省略しても通じ合える風潮が今までの日本の社会にはあったと述べられました。

しかし、これからの国際化時代の中では「以心伝心」「沈黙は金」の時代は去りつつあることを認識したうえで国際性を身につけていいただきたいと結ばれました。

うに行動していくかを考えるために今年度3回開催の予定で、今回が第一回目でした。

今回のテーマは、「自作を語る」ということで、先生の幼年時代の話から、父親の影響が非常に強く、とにかくおもしろい言葉をたくさ

教育ボランティア育成講座

長野 敬氏

6月28日(日)自治医科大学の長野敬教授を迎えて第1回教育文化ボランティア育成講座を開催しました。

特に遺伝子工学の進歩と人間との係わり合いを、遺伝子の発見の歴史から遺伝子組み換え技術の現状に至るまで解説されました。

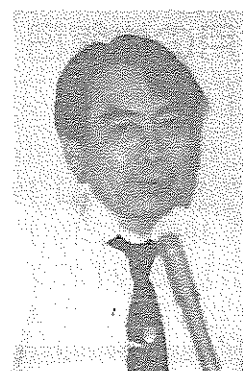
1953年に遺伝子のモデルに関する記念碑的な論文が発表されて以来、遺伝子の本体はDNA(デオキシリボ核酸)であり、そこに分子的暗号が並んでいて遺伝情報が伝えられることが分かって来た。

その遺伝暗号が翻訳されてタンパク質ができるという仕組みを利用して、バクテリアに人のインシュリンや成長ホルモンなどを作ら

ん父親から与えられたことが自分の作品に大きく反映されていることや、海外に住んだ経験や、児童文学者のトーベ・ヤンソン氏にあった話など、興味深い内容でした。

先生の作品が小学校低学年向きが多いことから、今回特に小学校1年生も何人か受講し、大変感激していました。

先生の作品には、「小さなおぼけシリーズ」など楽しい作品がい

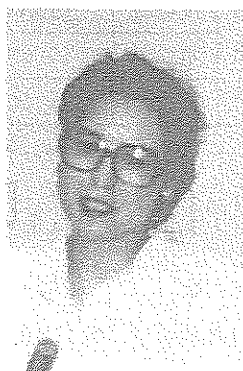


せることかてきるようになった。

人間の染色体についても、どの遺伝子がどこにあるかという地図が作られつつある。

それで先天的に遺伝子に欠陥のある病気の診断ができるようになり、遺伝子治療についての研究も進んでいる。

ただし、先端技術レベルの治療だけでなく、食事療法のような在来の手堅い治療法も組み合わせる使われるべきだと思います。



つばいで、おっとりした外観からはあまり想像できないが、話しをきいてみると、うなずける場面がたくさんありました。

采館者意識調査に御協力を

8月19日から8月29日まで「読書アンケート」と「図書館利用アンケート」を実施します。市民のみなさんの読書への関心や宇都宮市立図書館への考えを知ることにより、今後の図書館運営の参考にしたいと思いますので、どうぞ御協力ください。

対象は、「読書アンケート」が小学生以上、「図書館利用アンケート」が中学生以上です。配布場所は、一般開架室・児童図書室・閲覧室・調査相談室を予定しています。

目録箱

問 本を寄贈したいのですが条件等をおしえてください。

答 寄贈資料については、取扱いを図書館側に一任させていただける場合はどんな資料でも受付ますが、汚破損の著しいもの、重複本、教材としてふさわしくない等の理由で処分させていただくこともあります。レコード、CDについても同様です。

本の手作り教室

日時 8月22日(土)

午後1時30分～4時30分

8月23日(日)

午前10時～午後0時

講師 石井力太郎氏

場所 (製本文化技術賞受賞者)

市立図書館3階集会室

内容 家庭の資料の製本と裏打ち

定員 40名

受付 8月14日(金)から、直接または電話で市立図書館へ。

教材費 四百円。当日徴収。

持参物 製本する資料

・装丁用の木綿の布・筆

・器具・のりばけ2ヶ・は

さみ・古新聞・手ふき・

和裁へら・ものさし・か

なづち・自打ち・カッタ

ー・ベニヤ板・エプロン

ニュース
コーナー

読み聞かせ教室

日時 8月30日(土)

午後1時30分～3時30分

講師 語り手たちの会代表

場所 桜井美紀氏

市立図書館3階集会室

テーマ 「子どもの心を育てる本と語り」

定員 120名

受付 8月21日(金)から、電話か直接、市立図書館へ。

第二回子どもと子どもの本をつくる講座

日時 9月5日(土) 午後2時～4時

講師 児童文学者 中川李枝子氏

場所 市立東公民館

テーマ 未定

定員 120名

受付 8月28日(金)から。

託児 1才以上のお子さん20名まで、受付の時予約してください。

教育文化センター
育成講座

日時 9月13日(土)

午後1時30分～3時30分

講師 丸山一彦 白鷗大学教授

場所 市立図書館3階集会室

テーマ 「二茶と人生劇場」

定員 120名

受付 9月4日(金)から

電話か直接、市立図書館へ。

読書活動推進講座

日時 9月27日(土)

午後1時30分～3時30分

講師 黒田杏子氏 俳人

場所 市立図書館3階集会室

テーマ 「俳句のある人生」

定員 120名

受付 9月18日(金)から、電話か直接、市立図書館へ。

貸出状況

区分	62年6月	62年度累計 62/4～62/6
登録者数	786人	111,487人
貸出人数		
館内	16,142人	46,285人
視聴覚	2,195	6,116
館外	3,691	4,971
計	22,028	57,372
貸出冊数		
館内	54,072冊	157,460冊
視聴覚	5,708	14,870
館外	15,631	38,136
計	75,411	210,466

(注) 登録者累計数は、開館からの累計数

6月の 館内 1日あたり 館外 1ステーションあたり

貸出人数 673人 32人
貸出冊数 2,253冊 135冊

利用案内

○開館時間

午前9時30分～午後7時

ただし、児童図書室は

午前9時30分～午後5時

○休館日

毎週月曜日

国民の祝日

図書整理日(毎月初日または翌日)

○貸出は

図書・紙芝居

レコード・CD(コンパクトディスク)

(ただし、CDは2枚)

ビデオ・フィルム

あわせて15点まで

○講座の問い合わせ・申込み

電話または直接図書館へ

電話 (36) 0231

9月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
	①	2	3	4	5	
6	⑦	8	9	10	11	12
13	⑭	15	16	17	18	19
20	⑳	21	22	23	24	25
26						
27	㉘	29	30			

8月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
						①
2	③	4	5	6	7	8
9	⑩	11	12	13	14	15
16	⑰	18	19	20	21	22
23	⑳	24	25	26	27	28
29						

寄贈

堺みずほ「鎮魂賦」。水上文雄

「詩集堂」。坪山徳重「龍門」。

斎藤博子「水車のある風景」。長

谷川輝子「リラの花さく家」。稲

葉フク子「カザルスへの旅」。河

住玄「臥雲庵詩稿抄」。友枝宗正

「今日のソ連邦」。いせやH.C.宇

都宮店「学研まんが日本の歴史」。

鳥居越子「パースのテクニク」。

北沢功「杭州の伝説」。他多数。

ボランティア製作

あたらしい本

点字図書

▽ゴルフのルール(梶

原ゆみ子)▽小さくとも

命の花は(関光子)

▽ジュネーの推理(金

須茂登子)▽遠い約束

(小島義則)

声の図書

▽お待ちなせえ(下・エ

イス恐怖症が読む本・ロシアにつ

いて(藤田東子)▽霞ヶ関の憂鬱・

茶の間の正義(木村あい)▽レ・

ミゼラブル四(間康子)▽黄いろ

い船(石井武子)▽土曜日は殺意

の日(田中義子)▽ママ、ごめん

ね(藤原捷子)▽燃えるアメリカ

(木立とみ)▽私的生活(黒川敏

子)▽夜行列車殺人事件(佐藤孝

子)▽海嶺(下)(小川暢子)▽ダメ

の人(宇佐美伶子)